

平成30年安中市議会第3回定例会は、9月4日から9月21日までの18日間の会期で開催されました。この定例会に市長から提出された議案は、人事案件や条例の一部改正、平成30年度補正予算など13件、平成29年度決算関係が9件、あわせて22件が提出されました。また、議員提出議案として条例の制定など4件、意見書案が2件提出されました。

定例会のあらまし

- ◇ 4日 〓 本会議 会期の決定、議案22件を上程（内2件を即決）。決算審査特別委員会を設置、議案を各委員会に付託。
- ◇ 6・7日 〓 決算審査特別委員会
- ◇ 11日 〓 総務文教常任委員会
- ◇ 12日 〓 福祉民生常任委員会
- ◇ 13日 〓 経済建設常任委員会
- ◇ 18・19日 〓 本会議 一般質問
- ◇ 21日 〓 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案20件を可決。議員提出議案6件を可決。閉会。



今定例会における一般質問は、9月18日と19日に行われ、12名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう!

次の定例市議会は、12月3日～12月14日までの予定です。



おたしんいち
太田進一
(朋の会)

ICT（情報通信技術） まちづくり推進事業について

センサーネットワークによる鳥獣被害対策について

問 情報通信の政策活用は。

答 当市における鳥獣被害状況は平成29年度の被害は216件、被害額1億205万円余りとなっております。ICTは今や生活に必要不可欠なインフラ基盤であり、経済活動の活性化や、行政等の各分野における社会的課題の解決に資するなど、その役割は極めて重要となっております。ICTを利用して様々な行政課題の解決と、市民サービスの向上を図っていくことも行政の大きな役割となっていくものと認識しています。

問 総務省の補助金を活用したセンサー等物品購入については。

答 鳥獣被害対策の導入には獣の検知センサー、農捕獲センサー、追尾センサーなどから情報収集し、サイレン音やフラッシュ光で獣を追い払い、端末や地元農

家、捕獲隊などにメール配信するなどのクラウドシステムの構築が基本となります。本市においても鳥獣害対策のみならず利活用を見据え、国の補助金活用と費用対効果を考慮しつつ長期的な地域ICTの整備について検討する時期に来てしていると認識しています。

その他、ICTを活用した鳥獣対策として先進地へ担当職員の出遣研修について、地域児童見守りシステムについて他質問しました。



鳥獣被害対策センサー